

台風・降雪前のチェック（準備）

No	チェック項目	チェック欄	対処方法
15	排水用のポンプがあれば準備をしておく！		<ul style="list-style-type: none"> 排水ポンプの作動を確認しておく。 設置位置や電源の確保をしておく。
16	発電機があれば準備しておく。 （制御盤や自動換気の早期復旧）		<ul style="list-style-type: none"> 発電機の作動や燃料を確認しておく。 設置位置や電源の確保をしておく。
17	巻き上げ換気の閉位置や動作を確認する。		<ul style="list-style-type: none"> 台風時はより密閉する。 降雪時は換気できるように浅くする。 自動換気は手動に切り替える。
18	【強風・台風対策】 換気扇があれば準備をしておく！ （フィルムを未着させる効果を促す）		<ul style="list-style-type: none"> 換気扇の作動を確認しておく。 作動による負圧でフィルム等が損傷しない程度に調整する。
19	浸水が予想される場合は、機器類を被害の受けにくい場所へ移動する。		<ul style="list-style-type: none"> 電気を使用するものは特に実施する。
20	浸水が予想される場合は、電気のブレーカーを落とす。 （ショートを避ける）		<ul style="list-style-type: none"> 制御盤、モーター類は特に注意する。
21	出入り口固定を行い、風・水圧で開かないようにする。		<ul style="list-style-type: none"> 周辺の骨材や鴨居に固定できる様にしておく。 ※扉どうしを中央で固定しても扉全体が風圧と振動でズれる。 （紐や針金などで固定できるようにする。）
22	【雪対策】 雪の滑落を妨げるネットや外部遮光などを外しておく。		<ul style="list-style-type: none"> ネットや外部遮光は外す。 外すことが出来ない場合は上からフィルムで覆う事も有効です。
23	作物が無く、更新予定や不要なフィルムは外しておく。		<ul style="list-style-type: none"> 不要なフィルムを外すことにより骨材の損傷を防ぐ。 ※屋根だけを外すことでもかなり有効。

台風・降雪後のチェック（確認と復旧）

No	チェック項目	チェック欄	対処方法
24	人命優先・無理な作業はしない！		<ul style="list-style-type: none"> 台風到来時は不用意にハウスに近づかない。 降雪の場合は不用意にハウスに入らない。
25	一人で作業しない！		<ul style="list-style-type: none"> 作業中のけがや降雪後の倒壊による場合などは救助が遅れるため、災害初期は絶対一人で作業しない。
26	漏電による感電防止を確認する。 （ゴム手袋・長靴は着用する）		<ul style="list-style-type: none"> 台風などの場合は、受電までの送電の損傷を確認する。 不用意に電源を入れない。（浸水の場合は乾いてから確認する） 漏電個所（個別ブレーカー）を確認し業者に点検してもらう。
27	軽度な破損箇所は速やかに補修する。		<ul style="list-style-type: none"> 応急的にフィルムのあてがいをを行う。 補修テープ、マイカー線、スプリングを活用し損傷箇所を補修する。
28	施設周辺の排水や融雪対策は積極的に行う。		<ul style="list-style-type: none"> 排水のつまりなどを確認し速やかに排水する。 積雪の場合は土や燐炭などを活用し融雪を促す。 積雪した施設に水は掛けない。（重量が増し倒壊が予測される）
29	機器や制御の作動を確認し、栽培管理に備える。		<ul style="list-style-type: none"> 通電を確認する。（漏電確認後） 制御誤作動がある場合は速やかに業者に点検してもらう。
30	被害があった場合は、加入する保険に速やかに報告する。		<ul style="list-style-type: none"> 加入する保険会社へ報告し、申告や復旧までの手続きを確認する。
31	被害の状況は復旧前に必ず写真を撮っておく。		<ul style="list-style-type: none"> 復旧してからでは写真の様な憑依書類が確保できないため、災害の状況は詳細に撮影しておく。